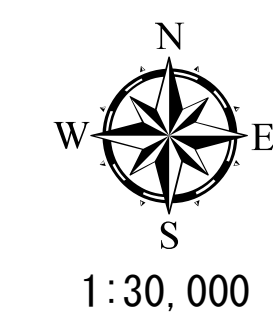
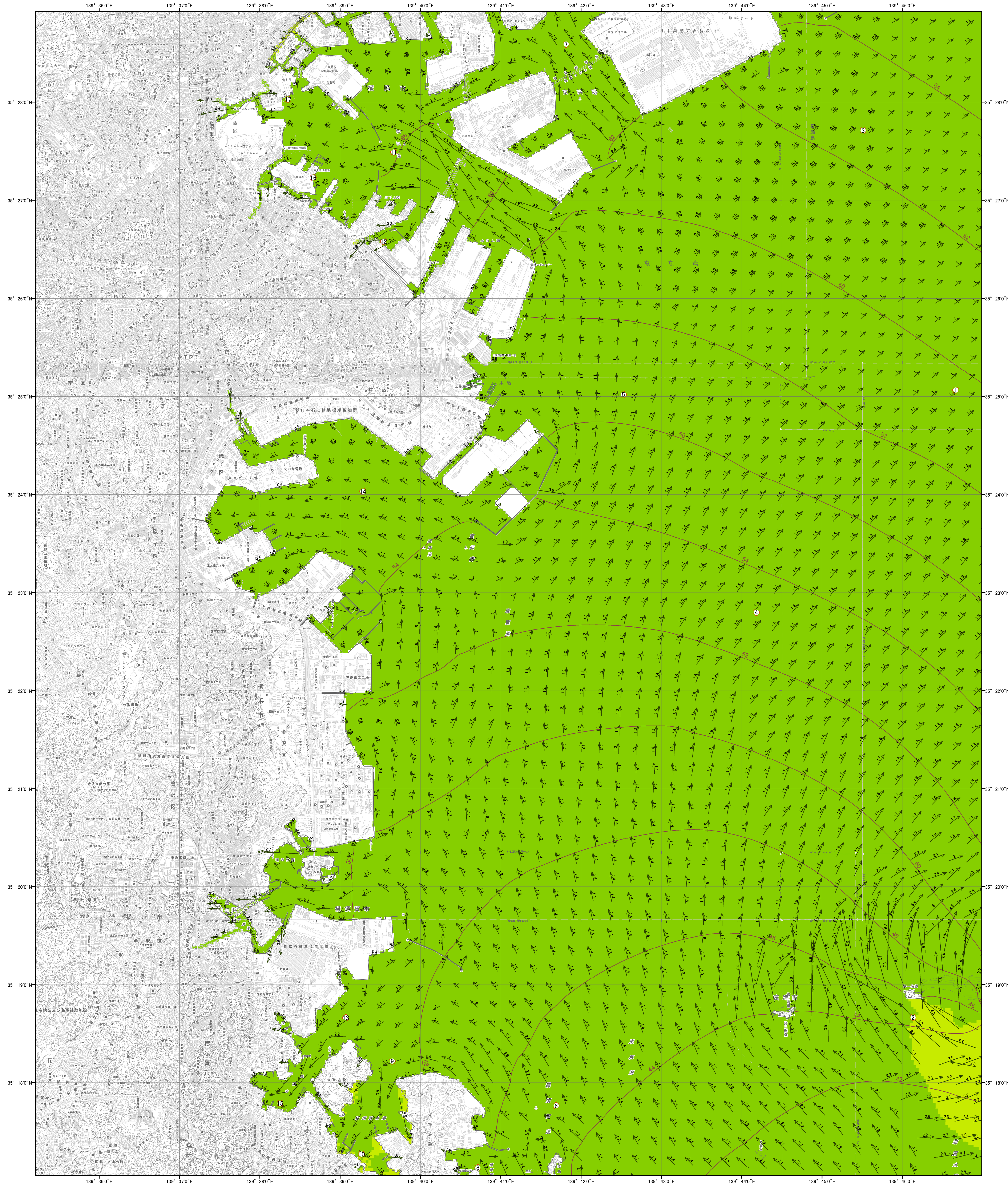


# 京浜港横浜・根岸 津波防災情報図（進入図）

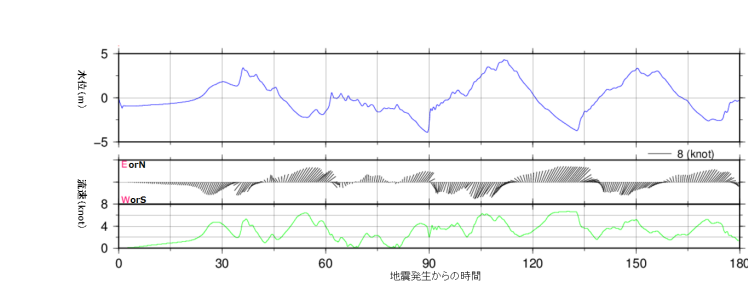
計算条件：最高水面（零位）  
 隆起量：平均 -0.10m(-0.11m~-0.08m)  
 Zo：1.00m~1.15m  
 備考：本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



座標系：メルカトル図法  
 測地系：世界測地系 (WGS84)

## 凡例

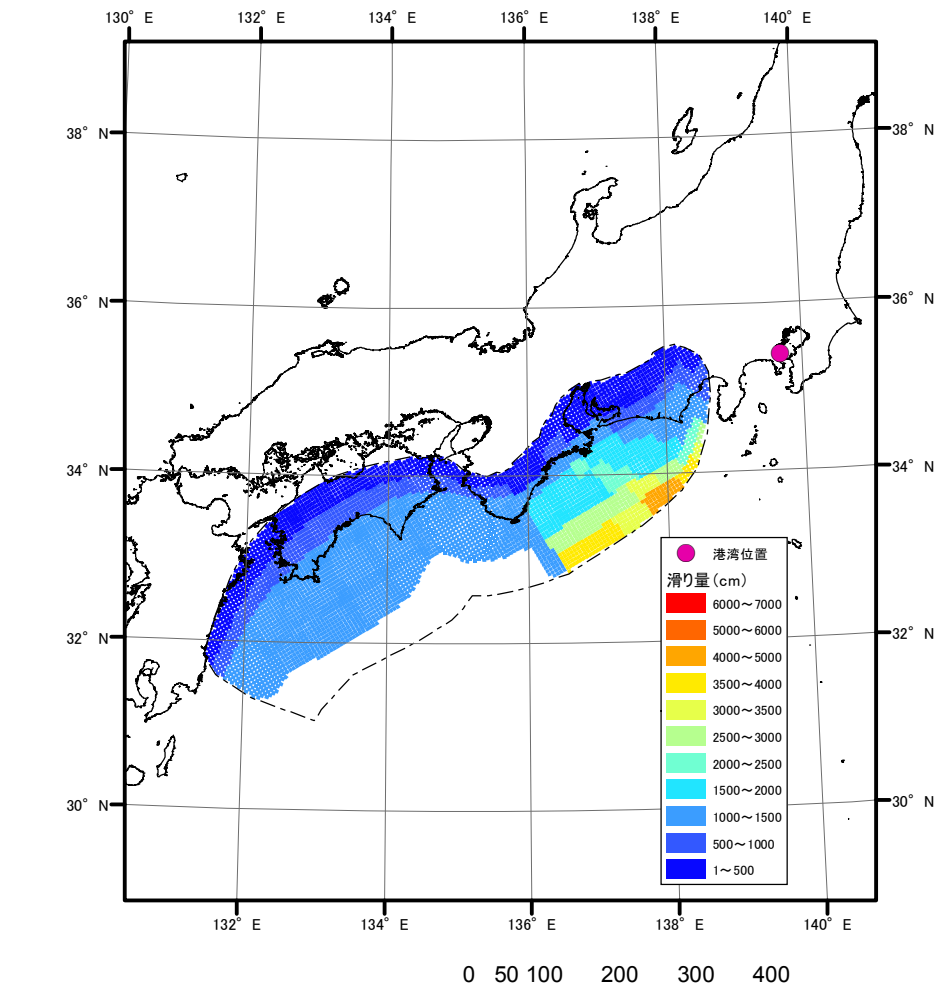
- 水位上昇(+10cm)となる等時線[分]
- 最大水位上昇
  - 3~最大3.4m
  - 2~3m
  - 0.5~2m
  - 0.5未満
- ⓐ 経時変化図出力点  
 (図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。)
- ⓑ 水位・流向・流速経時変化図



- 進入時最大流 [knot]
  - 3 knot
  - 2 knot
  - 1 knot

- 津波の到達時間は、水位が最高水面から10cm変動した時点として計算している。
- 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。

## 断層モデル



ケース①「駿河湾～紀伊半島沖に『大すべり域+超すべり』」

断層面積 S (km <sup>2</sup> )	140,000
地震モーメント Mo (N-m)	6.1 X 10 <sup>22</sup>
平均すべり量 D (m)	10.3
モーメントマグニチュード Mw	9.1

本断層モデルは、内閣府の「南海トラフの巨大地震モデル検討会（第二次報告）（平成24年8月29日発表）」により公表されたものである。  
 使用した断層モデルは、内閣府より公表された11ケースの中から、本図の区域において、浸水面積が最大となるモデルを選定した。

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。  
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。  
 ・海上保安庁が保有する水深データ  
 ・基礎地図情報5mメッシュ (標高)・10mメッシュ (標高)、及び数値地図25000 (地図画像) (国土地理院発行 国土地理院長承認 承認番号 平24情使、第911号 平成25年3月29日)

